

令和5年度 第2回羽黒地域振興懇談会 会議録

1 日 時 令和5年10月6日(金)午後2時00分～午後3時30分

2 場 所 羽黒庁舎 二階会議室

3 出席者 委員 会長 百瀬清昭、五十嵐満委員、丸山三喜男委員、土岐彰委員、三浦美津子委員、齋藤一志委員、鈴木静香委員、工藤重美委員
羽黒庁舎支所長 伊藤敦、総務企画課長 成沢結花、市民福祉課長 山口えみ、産業建設課長 上林喜博、総務企画課長補佐 成澤紀美
総務企画課主任 山本務
本所 都市計画課長 五十嵐泰彦、都市計画課主査 鈴木崇、都市計画課専門員 若生真人
地域振興課地域振興専門員 齋藤眞一
政策企画課専門員 佐藤紘司

4 会議次第

1. 開 会
2. あいさつ 百瀬会長
3. 意見交換会
 - (1) 総合計画後期基本計画(案)について
 - (2) 施策の成果指標(KPI)の見直し(案)について
 - (3) 地域振興計画の具体的施策及びまちづくり未来事業への反映について
4. 報告
 - (1) 市民提案型協働事業の進捗状況について
 - (2) 鶴岡市中心市街地将来ビジョンの策定について
5. その他 伊藤支所長
6. 閉 会

5 会議資料

- ・【資料1】第2次鶴岡市総合計画後期基本計画(素案)最新羽黒地域抜粋
- ・【資料2】後期基本計画 施策の成果指標(KPI)の見直し(案)及び羽黒地域未来事業実績一覧
- ・【資料3】鶴岡市における羽黒地域振興施策の全体像について
- ・【資料4】市民提案型協働事業進捗状況について
- ・【資料5】鶴岡市中心市街地将来ビジョン
- ・【参考資料1】「5つの加速化アクション」として位置付ける施策・取組例
- ・【参考資料2】第2次鶴岡市総合計画後期基本計画(素案)市全体
- ・【参考資料3】地域振興懇談会の意見と総合計画後期基本計画(案)への反映状況

6 意見交換会要旨

- (1) 総合計画後期基本計画(案)について (羽黒庁舎総務企画課課長補佐説明)
- (2) 施策の成果指標(KPI)の見直し(案)について (羽黒庁舎総務企画課課長補佐説明)
- (3) 地域振興計画の具体的施策及びまちづくり未来事業への反映について
(羽黒庁舎総務企画課課長補佐説明)

委員より意見・質問

【会長】

ただいま、事務局より説明があった。
今日は委員が少ないので、1人で2人分くらい発言頂けるとありがたい。
時間は限られているが、どんどん質問、意見だしていただければありがたい。

【委員】

一言御礼申し上げる。
9月14日に泉地区地域活動センターの早期建設に関する要望書を皆川市長に提出した。
検討した結果を報告したが、すぐには無理だが、来年度以降検討していくとの事だったので安堵した。
検討委員会では不安だったが、庁舎の協力によりある程度の案となったと思われる。
泉地区は2つの中心であり、コミセンも含め、まずは泉地区地域活動センターの改築ということで進めていく。
まずは要望書を提出し、成果がありそうだったので、引き続き頑張るので宜しくお願いしたい。
当初は活動センターの話で進んでいたが、最終的にはコミセンも含めての改修になると鶴岡市の方から示された。
どうなるか分からないが、我々は活動センターを中心に進めていきたい。

【委員】

経過は丸山委員が話したとおりだが、市長が要望を受けてテーブルに上がったというだけだ。
どういう風に建設していくかは、これから検討することだと思う。
ただ、10月1日の市政施工記念式典で市長が式辞で泉地区地域活動センターも検討すると話していたので、テーブルに載ってスタートしたように思った。

【委員】

成果指標で、羽黒全体で成果指標を取ろうということだと思うが、200万という数字があった。200万というのは実感がないがどういうことかと問い合わせると、各観光施設全部の合計という話だった。ゆぼかが40万くらいの頃に、それも含めて200万ということだった。
これは観光実態と離れているという話をし、観光協会では観光施設ごとの統計を取っていたと思うが、今の73万や80万という数字はどういう根拠で出た数字なのか。
令和10年度で100万人を目指すということだが、どの数字を使うのか。

【産業建設課長】

話にあった 200 万の根拠はすぐに出てこないが、開山 1400 年がピークで平成 5 年、羽黒山だけで 170 万。そこから伸び率を見たのが 200 万だと思う。

今は数字がどんどん減ってきており、ゆぼかはカウントしていないが、観光施設の統計を取った数字が現状値。その数字に伸び率をかけたのが今の数字である。

前の数字より落ちているが、実情を考えるとこの数字だと思い計上した。

【委員】

統計は難しいと思うが、全ての観光施設を足して積み重ねたものだとすると、同じ人が重なっていると思うが、同じ基準で比べていけば比較にもなり良いと思う。

今までと変えてしまうと比較ができない。

目標自体は妥当かと思う。

産業建設課で統計を取っていると思うので、インバウンドの数字も目標値に入れれば良いと思う。

【産業建設課長】

特定の宿坊や休暇村からは数字を聞いているので、設定は可能だと思うが検討させてほしい。

【委員】

一般観光客では難しいと思うが、宿泊客なら出来ると思うのでお願いしたい。

【委員】

月山から下りてきたばかりなので観光の立場でお伝えしたい。

今年は月山にすごく人が来た。これが今年だけなのか、来年も続くのかは分からないが、神社から聞いても例年と違う人数が来たという結果になっている。

また、外国人だが、前は日本が好きで日本語も勉強して来ていたが、今の円安の結果、安いから行ってみようという方たちが増えてきたのか、勉強もせず、言葉も分からずに山に来てしまうので、危ないと思っている。

多言語でパンフレットを作成できないか。特に中華圏。

【産業建設課長】

おっしゃる通りだと思う。

パンフレットや道路標示等の多言語化は、羽黒地域だけでなく観光行政として外せないことだと思うので検討していく。

【委員】

創造の森について、資料 4 にさくらライトアップ事業とあるが、実際に施設に行くと、他にもパンフレット等置いてあって、子供たちの興味のありそうな事業が色々あった。

現地に行かないと分からないとするならもったいない。

SNSでの発信になるかもしれないが、事前に周知をできれば良い。

スポーツについて、コロナ前の様に盛んになってきている中で、県外のスポ少が民宿に泊まったという話を

聞き、今度新島も来るということなので、交流ということも大事にしてほしい。

【会長】

駅伝に新島の選手の方々が来るとき、焼酎やくさや等を持ってきてくれるが、一般の住民との交流は少ないと思う。

【委員】

大会後に芋煮会でもやって交流すればよい。

【会長】

事務局に伝える。

【委員】

現在小麦を作っており、成果指標に小麦も入れてもらいたい。

既に令和 10 年の目標は達成したので、さらなる数字の改定を願いたい。

実は、耕作放棄地を何とかして欲しいと言われて小麦を栽培しただけで、その時は山大の試験栽培もやっていたので、3 人が栽培していた。

現在は山大とは関係なく事業化し、パンに向いていることが分かったので東京のパンの卸し 2 社を奥田シェフに紹介してもらっている。

今 5 人栽培しており、その面積の半分を私がやっている。

農業はやる人以上に辞める人が多くなっている。

アスパラの事も書いてあるが、病気があるのでやったら大損する。成功した事例は 0 だ。無理に勧めることは辞めて欲しい。

販売先を決めずに作っても売れない。私は小麦事業に 1 億投資している。そこまでできるのなら良いが、できないならやめた方がよい。

農協に騙された、役所に騙されたと言われるのが常なので、夢を見させずに、もっと計画的にやるべきだと思う。計画を見て、市役所のいうとおりにやったのに損をした、というひとが沢山出てくる可能性があるので慎重にやるべきだ。

今年の異常気象によるダメージが出るのが 12 月だと思われる。11 月が農家の返済の時期だが、それを越せない方がたくさん出てくると思われる。

今年の一等米比率は 30% くらいだと予想する。単価が 1200 円くらいに上がっているが、全部二等米だ。農家は 600 円引き、売るときは 300 円引きだ。だから農家にあまり金がかかず、値上げの効果がほぼない。三等米が出たら 1600 円になり、去年より安くなるという状況だ。燃料が上がっている、肥料が上がっている、機械は 2 倍くらいになっている。だから、今年 12 月で経営継続を断念する人が沢山出くるような気がしてならない。それを受ける人が居れば良いが、見つからなければ田んぼの耕作放棄が出てくる可能性がある。来年ある。

支援してくれというのは変な話だが、これは地域の中では大きな話題だ。

農家は仕方がないと言わずに、地域の皆さんからも何か対策をしてもらいたいと思っている。

山も荒らせば熊や猪が出るようになる。荒らさないような仕組みが何かあれば。例えば、迷惑かもしれないが、ボランティアで他人の畑の草刈も行う。大きい機械を持っていれば草刈は簡単だ。ボランティアに対し、燃料代

だけでも支援して荒れるのを防げば熊や猪も来なくなると思う。

月山牧場で朝仕事をしていたら、多言語の看板が無いので外国人の方がランニングしていた。宿坊にも外国人が泊っているのかとも思ったが、熊が出るようなところなのに、情報が無いために走っているのだと思う。注意標記も多言語化して事故を未然に防ぐのも誘致する側の責任ではないか。

円安になったので観光地としては最高である。インバウンド需要を見越して宿坊をツインルームだけにしたらどうか。亀屋もツインルームだけにして売り上げ、利益を伸ばしている。何もしないで、もっと来ると言っているも無理だ。

【委員】

米農家が高齢化しているが、機械の借金等もあって辞めづらい。長男が跡を継ぐという意向はまずない。麦が伸びるということだが、米農家が小麦農家に転向し、量を作っても需要はあるか。

【委員】

小麦は難しい。唯一の国家間管理貿易品目になっていて、敗戦後からアメリカの余った小麦を買っている。今も輸入小麦は国が全て買い、小麦屋に金を渡しており、国産小麦は要らないという状態だ。海外の小麦より国産の小麦が安く、安いから買えば良いと思うが、迷惑だとの事。外国産麦を使った方が業界が儲かる仕組みになっている。

麦に関税をかけたものを粉屋に還元し、米の経営安定対策も麦の関税を基にしているので外国産麦を使った方がメリットがと言われる。

量に関しては少量だと使いづらいので要らないと言われ、製粉するにしても量が少ないと製粉できない。仕方が無いので西川町に製粉工場を作り自分で製粉している。石臼で製粉しているが、石臼で製粉しているものが他にないので売れている状況だ。ただ、一気に増やすと売り先が無くて困るので、少しずつ増やしていけば拮据すると思う。

政府に畑地化事業を整備してもらい準備している。最終的には小麦の制度を完全に変えないと、農家が一生懸命作っても売り先が無い。大きいパン屋に買ってもらわないと、農協は3年前に小麦をやめて一切扱わないと言っている。

小麦は過剰だと言われているが、欲しい人は居るので、状況が整うまで待つて欲しい。

【委員】

一等米比率が30%との事だが、比率が下がった事による差額はどうか。

【会長】

買い先が選定に入っていて、新潟が重宝されているが三等米が非常に多い。

2番目に北海道のゆめぴりか。ただ、タンパクが高すぎてゆめぴりかで売れないものがある。

高値の物を置きたいが、物がなくて置けないという所に、つや姫の二等米が売れそうだ。

いつも同じ人が同じ値段で買っているわけではなく、価格変動があるので一概には言えないが、つや姫なら去年と同じ値段であれば飛ぶように売れると思う。

はえぬきは見た目が悪いが、新潟の米が使い物にならないので、ブレンド用として重宝すると思われる。

雪若丸はほぼ一等米なので、7年産は雪若丸を作付けする人が多いと思うが、市場性が無いので多くの人

が作付けすれば単価は下がると思う。

各品目について最初から売り先があるなら良いが、市場の状態を見て売り先を決めなければいけないため、農協が非常に苦しい立場になっている。

【委員】

広瀬地域のビジョン作成の場で、今年夏まつりを開催したら若い人たちが集まってきたとの事だ。事務局の人たちが一生懸命呼びかけたからだだが、広瀬にもこんなに若い人が居るんだと思った。地域の振興会に若い人が集まれるような取り組みを予算化し、若い人が地域に溶け込めるようにしていかなければならないのではないかな。

高齢の人たちはこれまでも事業があるが、若い人を対象にした事業をという意見があった。SNSによる情報発信をしたらどうかという意見が出た。

【委員】

資料 1 のアの④に、庄内平野を一望できる地勢を有効活用しとあるが、どこの事を言っているのか。実際には月山高原エリアの事を言っていると思うが、他の資料には月山高原エリアと載っている。そうであれば月山高原エリアと明示すれば良いのではないかな。

イの施策の方向に庄内柿とあるが、主な施策には庄内柿はない。施策の方向の一番最初に庄内柿とあるなら、主な施策にも庄内柿と載せた方が良いのではないかな。関連して、資料 3 のプロジェクト事業に庄内柿が無いが、プロジェクトを考えた方が良いのではないかな。

資料 3 に小麦の販路開拓支援とあるなら、しりょう1に小麦の事が出てきても良いのではないかなと思っていたが、齋藤委員の話聞き、小麦の販売が難しく、国でも迷惑しているものを載せて良いのか。

資料 2 のコミュニティのところ、令和 10 年の目標を下げたとの事で、理由として人口減少予想値が 400 人減少したとの事だが、予想よりも少なくなったということか。また、目標値は下げなくても良いのではないかな。

【支所長】

月山高原エリアという地名があった方がイメージしやすいとの事だが、今回あえて落とした。尚、最終版にするまで、どのような表現が良いか検討し答える。

コミュニティセンターの関係だが、目標値なのであえて落とす必要はないということについては、その通りだと考えますので指摘通り修正する。

7 報告要旨

- (1) 市民提案型協働事業の進捗状況について（羽黒庁舎総務企画課課長補佐説明）
- (2) 鶴岡市中心市街地将来ビジョンの策定について（都市計画課専門員説明）

委員より意見・質問

【会長】

市民提案型の事業なので、是非上手くいくようお願いしたい。

【委員】

内容については言うことはないが、資料 3 について、羽黒山も入れて欲しい。
星印が主要観光地とあるが、名前を表示して欲しい。

【都市計画課長】

羽黒地域で2つ星があるのは、羽黒と記載してあるところの右側が羽黒山、下が松ヶ岡開墾場だ。
具体的な名称は書かずに記載してあるが、イメージしやすいのであれば、そういった工夫もしていく。

8 その他

委員より意見・質問

【委員】

東京からインターンをお願いして来た若い子と話したとき、行ける場所があれば、農家の手伝いをしたり、自然の中で作業したりすることは、したいことだとの事。

インターンをして良かったが、山形に派遣してくれる会社が多くないため、市が大学等を通じて窓口を作ってくれないか。そうすれば若い子が来て活性化する。大学とインターン生と私たちを繋ぐ方法が市にあれば良いと思う。

【会長】

枝豆の時期は大学生がたくさん来ている。東北大学からも来ている。それが個人ではなく組織的にできれば、今、県ではデイワークというアプリを使ってやっているが、もっと大きく組織的なものが必要だ。

【委員】

地域にこれだけの人が住んでいて心配なのは医療体制。

この地域は市立の荘内病院が核になっているので、高度医療、荘内病院の高機能化を期待したい。

今どうなっているのかわからないが、日本海病院が良いという人が多いようだ。いろいろな事があるので病院の充実をお願いしたい。

【委員】

病院について、今年はアレルギーを診れる先生が居なくなったりとか、決まった曜日にしか来なくて受診できないとか、そういう実態もある。急に子供の具合が悪くなっても、子供が泣くので受け入れられないと断られる事例も多々ある。そのため酒田まで行くときもある。

病院の活性化は、そういう意味でもお願いしたい。

【委員】

資料 4-1 の中で二次交通の具体的な話が出ている。羽黒山、月山、湯殿山とか出羽三山の二次交通が非常に貧弱になっている。そのためお客さんが観光を諦めたりしている状況があるが、それに比べると中心市街地の二次交通の充実がすごい。市街地が充実するのはありがたいが、地域の観光の二次交通も考えていただ

きたい。

自動運転の実証実験をこちらでやる等できないか。

【地域振興課専門員】

市内の交通については、市内循環が昨年 10 月に大幅に増強され、昨年度比で 4 倍。8 月だけなら約 5 倍と利用者が増強している状況だ。

前回の地域振興懇談会で月山線の話があり、利用状況を見ながらと話をした。

今年の 9 月下旬の 3 連休について、月山線については、天気が良かったこともあり、満車、立ち乗りの状況が続いていると聞いている。

お客さんが増えれば便数も増やしていけると思うが、次年度どういう状況になるか、庄内交通が一番状況を分かっているので、まだ流動的だと見るか、次年度の運行本数について協議していきたいと思う。

【委員】

大きい農家でも今大変になってきている。

農家への支援がもう少しできれば。

柿についても、今年は猛暑で適地や北限と言えるのか。

【委員】

10 月の中旬になると柿が 1/3 くらい生理落果している。

柿を辞めたいが伐らなければならない。伐るのにも金がかかるし、搬出にも金がかかる。

この辺は農家が駄目であれば観光も駄目になる。

対策しないと田んぼが草だらけになる。

【委員】

小麦は今ようやく芽が出てきた感じだ。

販売先の確保が出来れば、相当な勢いで増やさないと無理なので、それを狙いながらやっている。

今の転作の制度が悪く、田んぼに稲を植えて転作しろと言っているから米が過剰になる。

そばは 8 割輸入しており、今は輸入が止まっている。高級品になると思われるので、完全畑地化してそばを作ればよい。

稲を植えて何とかしようと思わず、まだまだチャンスはあると思うので、売り先を見つけて売れるものを作ればよい。

【委員】

お客さんで月山の小麦畑が綺麗だったという方が多い。

景観が良いということも大事。

月山の小麦を使っているが味が違うと言われるので、可能性はあると思う。

以上。